

白石町

## 新たな医療拠点で 地域包括ケア充実へ

### 「メディカルモール」完成

白石町

調剤薬局と  
複数の医療施設

設が集まった医療モール「メディカルモール・しろいし」が白石町福吉に完成した。社会の高齢化に伴い地域包括ケアの充実が求められる中、モールの利便性を生かした医療サービスを提供していく。

白石小西側の8千平方

の敷地に内科、皮膚科、調剤薬局が開業する。駐車場は200台収容できる。小城市の「メディカルモールおぎ」をコーディネートする医薬コンサル「太平」(副島広幸社長、小城市)による2カ所目のモールで、薬局も同社が出店する。

8日は現地で竣工式と薬局の内覧会があった。内科は肝がん治療も行うため、薬局には抗がん剤専用の調

剤室なども備え、出席者が扉越しに見学した。

副島社長は「地域包括ケアの『地域』の範囲を考えると中学校区に一つは医療拠点が必要になり、モールがその役割を担いたい。複数の医療施設があることで備蓄する薬の種類も増え、災害時の拠点薬局としての機能も期待できる」と語った。内科の川添聖治院長と皮膚科の中房淳司院長もあいさつし、地域医療の貢献に向けた決意を語った。薬局と皮膚科は12日、内科は18日にそれぞれ開業する。

(志垣直哉)



薬局の無菌調剤室(画面左)や抗がん剤専用調剤室(画面奥)を見学する内覧会出席者「白石町の「メディカルモール・しろいし」